

環境活動レポート

対象期間：2015年5月～2016年4月



発行日 2016年5月31日

株式会社 シミズトライム

〒424-0064 静岡市清水区長崎新田428番地の1
TEL : 054-345-6498 FAX : 054-345-2808

【目 次】

1. 組織の概要 …… 2
2. 対象範囲、レポートの対象期間及び発行日 …… 2～3
3. 環境方針 …… 4
4. 2015年度環境目標 …… 5
5. 環境活動計画 …… 6
6. 環境目標の実績（2015年5月～2016年4月） …… 7
7. 環境活動計画・目標 …… 8～ 10
8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び
評価の結果並びに違反、訴訟等の有無 …… 11～12
9. 代表者による全体評価と見直しの結果 …… 13

1. 組織の概要

(1)事業所名及び代表者名

株式会社 シミズトライム

代表取締役社長 栗田 政則

(2)所在地

〒424-0064

静岡県清水区長崎新田428番地の1

(3)環境管理責任者

責任者:栗田 長久

連絡先:TEL 054-345-6498(代) FAX 054-345-2808

(4)事業内容

○射出成形用金型製作

○精密部品製作

○試作・開発品製作

(5)事業規模(2015年5月～2016年4月)

・売上高 388,510 千円

・従業員数 48 人

・建築面積 1629.1 m²

2. 対象範囲、レポートの対象期間及び発行日

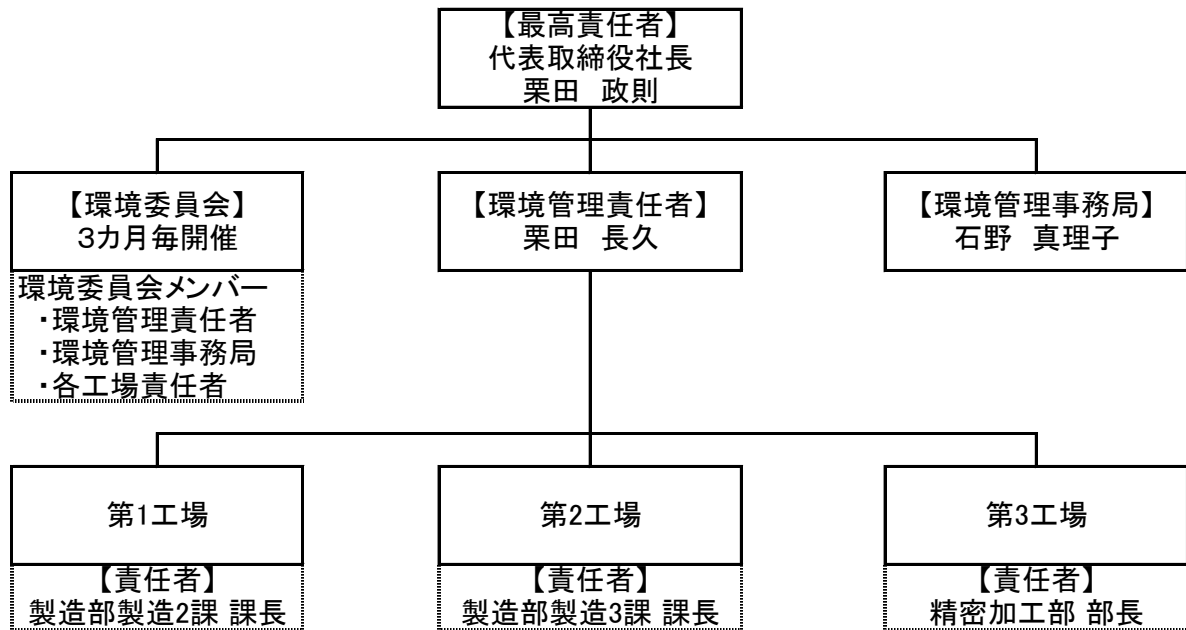
(1)対象範囲

・株式会社シミズトライムの全組織及び全活動

(2)レポートの対象期間及び発行日

・レポートの対象期間及び発行日は、表紙に記載

(3)エコアクション21 推進組織図



役職	役割・責任・権限
最高責任者	・環境経営システムの統括責任者
	・環境方針の策定及び全従業員への周知徹底
	・環境管理責任者及び部門推進責任者の任命
	・必要な人材、設備、資金等を適切に準備
	・全体の評価及び見直し
環境管理責任者	・教育の実施、環境目標及び環境管理システムの承認
	・環境管理システムの実施状況の確認
	・環境活動の取組み結果の確認
	・環境活動レポートの確認
環境管理事務局	・環境管理システムに係わる文書の作成及び管理
	・システムの運用に係わるデータの集計及び管理
	・環境目標及び環境活動計画の実績集計
	・環境活動レポートの作成
	・最新版の環境関連法規等の入手及び管理
環境委員会	・環境目標の設定、環境活動計画の策定及び進捗管理
各工場責任者	・教育の実施、環境目標及び環境管理システムの実施
	・環境活動の取組み結果の確認
	・環境活動レポートの確認

3. 環境方針

【基本理念】

当社は、深刻化する大気汚染や地球温暖化を防止するために、環境保全活動を推進することが企業の社会的責任の一つと認識し、射出成形用金型や精密部品の提供という事業活動から生ずる環境負荷の低減に努めます。

【行動指針】

- 1.二酸化炭素排出量の削減に努め、低炭素社会への取組を実践します。
- 2.省エネ、省資源及びリサイクル化を進め、循環型社会への取組を実践します。
- 3.製造過程で起こる不良品の発生を抑え、省エネ及び省資源に努めます。
- 4.廃棄物の削減に努め、発生した廃棄物のリサイクルを推進します。
- 5.水使用量の削減に努め、水資源の保全を実践します。
- 6.コピー用紙の削減に努めます。
- 7.グリーン購入の推進に努めます。
- 8.法規制を遵守し、環境保全に努めます。
- 9.この環境方針は全社員に周知徹底します。

制定： 2012年 2月 3日

改定： 2016年 1月 5日

株式会社 シミズトライム
代表取締役社長 栗田政則

4. 環境目標

環境目標項目	単位	基準年度	今年度目標	中長期目標		
		2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
二酸化炭素	%	100%	-1%	-2%	-3%	-4%
排出削減(注1)	kg-co2	492,941	488,016	483,082	478,153	473,223
電力消費量	%	100%	-1%	-2%	-3%	-4%
削減	kwh	968,606	958,920	939,742	939,548	929,862
ガソリン消費量	%	100%	-1%	-2%	-3%	-4%
削減	L	3,360	3,325	3,259	3,259	3,226
軽油消費量	%	100%	-2%	-3%	-4%	-5%
削減	L	1,426	1,398	1,356	1,369	1,355
一般廃棄物	%	100%	-3%	-4%	-5%	-6%
排出量削減	kg	990	960	922	941	931
産業廃棄物	%	100%	-1%	-2%	-3%	-4%
排出量削減	kg	4,650	4,603	4,511	4,511	4,464
上水使用量	%	100%	-1%	-2%	-3%	-4%
削減	m ³	975	964	945	946	936
化学物質	%	100%	-1%	-2%	-3%	-4%
使用量削減	kg	146	145	143	142	141
グリーン商品の購入	増加数		3	4	5	6
	品目	9	12	13	14	15
コピー用紙の削減	%	100%	-1%	-2%	-3%	-4%
	枚	59,000	58,410	57,242	57,230	56,640
不良品の削減	%			2015年度の実績を把握した後設定		
	個	実績なし	数値取り			

(注1)購入電力の排出係数は、0.497kg-CO2/kWh(2014中部電力実排出係数)を使用。

5. 環境活動計画

項 目		活動計画	活動結果
二酸化炭素 排出削減	電力消費量削減	<ul style="list-style-type: none"> ・水銀灯の節電 ・節電ポスターの掲示 ・まびき節電 	<ul style="list-style-type: none"> ・節電意識の徹底ができた ・生産活動の増加により、目標は未達に終わってしまった。
	ガソリン・軽油 消費量削減	<ul style="list-style-type: none"> ・日常管理票による管理 ・エコドライブの奨励 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常点検を徹底して行った ・急発進、急停車に気を付けた ・生産活動の増加により、目標は未達に終わってしまった。
廃棄物排出量 削減	一般廃棄物 排出量削減	<ul style="list-style-type: none"> ・個人廃棄物の持帰り ・排出量の把握 ・分別排出の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人廃棄物の量はさほどなかった ・排出量の計量が慣習できた ・徹底した分別排出ができた
	産業廃棄物 排出量削減	<ul style="list-style-type: none"> ・分別排出の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・徹底した分別排出ができた ・生産活動の増加により、目標は未達に終わってしまった。
総排水量削減	上水使用量削減	<ul style="list-style-type: none"> ・節水の推進 ・節水ポスターの掲示 	<ul style="list-style-type: none"> ・節水意識が浸透し、目標が達成できた。
化学物質 使用量削減	トルエン 使用量削減	<ul style="list-style-type: none"> ・削減の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・使用量が少ないため、今後は代替品等を探し、人体及び環境に優しい物に、転換できるように検討する
グリーン商品購入 への取組み	文房具等 グリーン商品の 購入	<ul style="list-style-type: none"> ・購入の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・購入実績のある物以外を増やしていくことは、今後の購入理由からして無理があると思われる
コピー用紙の削減	コピー用紙の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・両面印刷の奨励 	<ul style="list-style-type: none"> ・生産活動の増加に伴い、図面、納品書等の印刷枚数が、昨年度よりも大幅に増加した
不良品の削減	不良品の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・現状を把握のため全社での数値取り 	<ul style="list-style-type: none"> ・数値取りができ、現状の把握ができた

6. 運用期間の環境目標と実績（2015年5月～2016年4月）

・下記実績は、シミズタイムの2015年度の実績です。

電力二酸化炭素排出係数:中部電力2014年度実績・・・0.497kg-co2/kwh

		2014年度	運用期間における実績		
			2015年度		
環境目標項目	単位	基準値	目標	実績	評価
二酸化炭素 排出量の削減	Kg-CO2	492,941	488,016	491,015	△
	対基準	100%	-1%	-0.4%	
電力消費量 の削減	kwh	968,606	958,920	964,839	△
	対基準	100%	-1%	-0.4%	
ガソリン消費量 の削減	L	3,360	3,325	3,277	○
	対基準	100%	-1%	-2.5%	
軽油消費量 の削減	L	1,426	1,398	1,479	△
	対基準	100%	-2%	3.7%	
一般廃棄物の 排出量削減	kg	990	960	1,346	×
	対基準	100%	-3%	36.0%	
産業廃棄物の 排出量削減	kg	4,650	4,603	3,973	○
	対基準	100%	-1%	-14.6%	
上水使用量 の削減	m ³	975	964	941	○
	対基準	100%	-1%	-3.5%	
化学物質の 使用量削減	kg	146	145	117	○
	対基準	100%	-1%	-20.1%	
グリーン購入 への取組	品目	9	12	11	○
	対基準	0	+3	+2	
コピー用紙 の削減	枚	59,000	58,410	74,000	×
	対基準	100%	-1%	25.4%	
不良品 の削減	個	実績なし	数値取り	38	
	対基準				

※評価欄 ○:目標以上達成、△:目標未達成(基準値+5%以下) ×:未達成(基準値+5%以上)

7. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

2015年5月～2016年4月の活動の取組みと評価

取組みの詳細内容については、付表5-02に記載

活動計画・達成状況	環境活動計画の取組み結果の評価
二酸化炭素排出量の削減 【目標】 前期に対して1%削減 【目標の達成状況】 0.4%削減	・前年度よりも会社全体での生産量が増加し、総体的に生産、営業活動が活発となったが、目標は達成できなかったが、僅かながらでも削減することができた。 【次年度への取組み内容】 ・今回の結果を踏まえ、来年度の目標値を設定しつつ削減に努めたい。
電力消費量の削減 【目標】 前期に対して1%削減 【目標の達成状況】 0.4%削減	・前年度よりも金型製造部門での生産量が増加し、また機械設備の増設もあったため、目標達成とはならなかったが、僅かながらでも削減ができた。 【次年度への取組み内容】 ・今回の結果を踏まえ、来年度の目標値を設定しつつ削減に努めたい。
ガソリン消費量の削減 【目標】 前期に対して1%削減 【目標の達成状況】 2.5%削減	・前年度よりも精密加工部門での生産量が増加し、営業車での営業活動も活発化しているが、エコドライブ等の取組により、目標を達成することができた。 【次年度への取組み内容】 ・今回の結果を踏まえ、更なる削減に努めたい。
軽油消費量の削減 【目標】 前期に対して2%削減 【目標の達成状況】 3.7%増加	・生産量増加に伴う金型製造部門でのトラックの使用頻度が増したため、消費量が増えていることが判明した。 【次年度への取組み内容】 ・今回の結果を踏まえ、来年度の目標値を設定しつつ、削減に努めたい。
一般廃棄物排出量の削減 【目標】 前期に対して3%削減 【目標の達成状況】 36%増加	・前年度よりも従業員が増えたことや、生産量の増加に伴う仕入等でのダンボール、図面等を処理したシュレッターごみの排出量が増加したことが判明した。 【次年度への取組み内容】 ・今回の結果を踏まえ、来年度の目標値を設定しつつ、削減に努めたい。

活動計画・達成状況	環境活動計画の取組み結果の評価
産業廃棄物排出量の削減 【目標】 前期に対して1%削減 【目標の達成状況】 14.6%削減	・前年度よりも全社での生産量が増加したが、分別排出の取組の徹底により、目標を大幅にクリアすることができた。 【次年度への取組み内容】 ・今回の結果を踏まえ、更なる削減に努めたい。
上水使用量の削減 【目標】 前期に対して1%削減 【目標の達成状況】 3.5%削減	・全社を通して節水意識が浸透し、目標を達成することができた。 【次年度への取組み内容】 ・今回の結果を踏まえ、更なる削減に努めたい。
化学物質使用量の削減 【目標】 前期に対して3%削減 【目標の達成状況】 20.1%削減	・目標値よりも大幅に使用量を削減できた。しかしながら現在の使用状況から考えると、これ以上の削減は見込めない。 【次年度への取組み内容】 ・本年度の結果を常習化することを前提とし、今後は適切な管理を実施していきたい。
グリーン商品購入への取組み 【目標】 前期に対してプラス3品目の購入 【目標の達成状況】 2品目増加	・目標は達成できなかったが、前年度よりも品目を増やすことができた。しかしながら現在の事務用品の購入状況からは、これ以上の増加は見込めない。 【次年度への取組み内容】 ・本年度の結果を常習化することを前提とし、今後は対象商品が発生次第、逐次購入を進めていきたい。
コピー用紙の削減 【目標】 前期に対して1%削減 【目標の達成状況】 25.4%増加	・前年度よりも全社での生産量が増加し、また精密加工部門での営業活動が活発化しているため、消費量が大幅に増加していることが判明した。 【次年度への取組み内容】 ・今回の結果を踏まえ、来年度の目標値を設定し、削減に努めたい。

<p>不良品の削減</p> <p>【目標】 数値取り</p>	<p>・現状を把握するため、全社での数値取りをすることができた。</p> <hr/> <p>【次年度への取組み内容】</p> <p>・今回の結果を踏まえ、来年度の目標値を設定し、削減に努めたい。</p>
--------------------------------	---

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び

評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

* 遵守状況 ○:遵守 ×:不適合

(1)適用される環境関連法規等とその遵守状況（2015年度）

No	法令・条例等	適用内容	備考（遵守内容）	遵守状況
1	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	保管基準等	・保管場所に囲いを設ける	○
			・掲示板の設置(60cm×60cm以上)	○
			・管理責任者の任命	○
		委託基準	・委託契約書、業者の許可証を5年間保管	○
			・業者の実地確認、5年間保管、不適正処理の報告	○
		管理票交付等状況報告書の提出	・5年間保管(A、B2、D、E票)	○
・年間発行状況を市に報告	○			
2	騒音法	・コンプレッサー(5台)	・行政への届け出	○
		・成形機(2台)	・敷地境界線での測定及びその記録の保管	○
	振動法	・コンプレッサー(5台)	・行政への届け出	○
		・成形機(2台)	・敷地境界線での測定及びその記録の保管	○
3	消防法 ※自主基準として運用 シンナー 第4類 第1石油類	消防署への届出	・指定場所に32L以下(少量危険物保管数量以下)	届出不要
		保管方法	・危険薬品庫に保管	○
			・標識・・・白地に黒色文字で「危険物保管庫」と記載	○
	放電加工液、潤滑油 第4類 第3石油類	保管数量2000L (少量危険物400L)	・放電加工液・・・200L保管	○
		保管方法	・定められた場所に保管	○
			・標識・・・赤地に白色文字で「火気厳禁」と記載	○
4	PRTR法 対象化学物質	第1種指定化学物質:トルエン 年間使用量500kg以下のため 届出対象事業者ではない	・使用量の把握	○
			・MSDSに基づいた適正管理	○
		特別要件施設の有無 排出量、移動量の届出	・特別要件施設を有していない ・対象事業者ではない	届出不要
5	家電リサイクル法	排出者の責務	・適正な引渡し ・収集・再商品化等に関する費用の支払い ・管理票による処理状況の確認	廃棄なし
6	自動車リサイクル法	クルマの所有者	・リサイクル料金の支払い ・自治体に登録された取引業者への廃車の引き渡し	廃棄なし
7	資源有効利用促進法	消費者の責務	・製品の長期間使用 ・再生資源または再生部品を用いた製品の利用・分別回収への協力 ・国、地方公共団体および事業者の実施する措置への協力	○

8	フロン排出抑制法	法対象機器	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄する際フロン類回収業者への引渡し ・回収、運搬、破壊に要する料金の支払い ・回収依頼書又は委託確認の写しを3年間保管 ・フロン類回収業者交付の取引証明書を3年間保管 ・解体工事元請業者が行う確認工事への協力 	廃棄なし
			<ul style="list-style-type: none"> ・全ての第一種特定製品に対し3ヶ月に1回以上製品の 外観確認等の簡易点検 	点検済
			<ul style="list-style-type: none"> ・圧縮機の定格出力が7.5kW以上の機器は3年に1回 以上知見を有する者の定期検査 	近日点検 予定
			<ul style="list-style-type: none"> ・点検・整備の記録作成し該当機器を廃棄するまで保 管 	○

環境関連法規等法令遵守確認日：2016年4月30日

確認者名：栗田長久

(2)環境関連法規等の遵守状況の評価結果（2016年4月30日現在）

- ・環境関連法規等の適用事項及び遵守内容に対する逸脱はありません。
- ・関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟も、過去3年間ありません。
- ・近隣住民からの指摘、苦情、訴訟は1件もありません。

9. 代表者による全体評価と見直しの結果

作成:2016年5月20日

		項目	確認	評価・コメント記載
1・ 見直し 関連情報	1	環境目標の達成状況	☑	・目標未達項目は原因を究明し再設定する
	2	環境活動計画の実施及び運用結果	☑	
	3	問題の是正処置及び予防処置の実施状況	☑	
	4	環境関連法規等の遵守状況	☑	・記録に記載済み
	5	外部からの環境に関する苦情や要望	☑	・特に問題なし
	6	行政・業界等の動向	☑	
	7	その他	☑	
2・ 全体評価・ 見直し 指示	<p><全体評価・コメント> ・前年度より本年度は、会社規模で大きく社内構造が変化したため、ほぼ全ての環境目標に対し、目標未達事項が多くなってしまいました。 来年度は環境目標及び活動計画は変更せず、目標値のみ本年度の実績を踏まえて、現会社状況にあった数値を設定し、環境活動を推進していきます。</p> <p style="text-align: right;">代表取締役 栗田政則</p>			
	次年度の見直し項目		変更	「有」の場合の指示事項等
	1	環境方針	無	
	2	環境目標・計画	有	現状に合った目標値の設定
	3	環境活動計画・取組項目	無	
	4	環境に関する組織	無	
	5	環境関連法令	無	
	6	教育	無	
	7	その他(外部への対応)	無	